

仙台市市民活動サポートセンターの機能のあり方に関するご意見

仙台市市民活動サポートセンター（以下「サポセン」という。）の、次期指定管理期間（令和 7 年度～令和 11 年度）におけるサポセン機能のあり方について、当委員会において以下のご意見をいただいた。

1. 第 1 回委員会における意見

次期指定管理期間におけるサポセン機能を検討するにあたり、現在のサポセンの機能等について認識いただくため、施設の概要・実施事業について説明をしたうえで、以下のご意見等をいただいた。

- 普段の活動では出会う機会のない団体と、分野を越えて繋がりが生まれる仕掛けがあると良い。
- サポセンを拠点にして地域で活動している個人や団体と連携ができる仕掛けがあると良い。
- 最近は社会貢献をする企業も増えている中で、市民活動とマッチングする仕掛けみたいなものが増えていくと良い。
- 広い意味でのアウトリーチ活動として、市民センター等の地域の拠点施設と連携も重要。
- 企業や市民、NPO 等が同じ目的をもって地域の取り組みを進めていくということを目指すのであれば、「コレクティブインパクト」の考え方も参考になる。
- 特に施設に用事がなくても、ふらりと立ち寄るとたくさん市民活動の情報に出会え、こんな活動が世の中にはあるんだと、刺激をもらえる場所になるのではないかな。
- 建物の外からは 1 階の様子がわかりにくい印象を受け、入りにくい気もする。施設に入りやすい雰囲気が必要だと思う。

2. 第 2 回委員会における意見

第 1 回目のご意見や、市民活動・市民協働をとりまく環境の変化を踏まえて、事務局が検討している今後の取り組みについて説明をしたうえで、以下のご意見等をいただいた。

- 定期的な交流の場や、ふらっと立ち寄れるような場づくりがポイントになるのではないかな。
- 活動場所の提供や地域で起きている様々な取り組みを発信し、ネットワーキングするつなぎ役となることを今後も期待したい。
- コーディネーターの重要性を改めて認識したし、コーディネーターの人柄に引かれて相談する人が集まってくるのだと思う。
- 自覚や標榜をしていなくても、地域の人材や情報のハブとなっている人や場所があるはず。所謂まちづくり拠点に限定せずに、そういった様々な場所や人と繋がれるのかがポイントになるのではないかな。
- コーディネーターを育成する研修の充実が必要。
- コーディネーターが地域で活躍しやすくなるような工夫も必要。

⇒ 以上のご意見も踏まえ、サポセンに求められる機能を別紙「資料 2 - 2」のとおり整理。